

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 せめて  
①そのまま ②かえって ③一方では ④無理やり
- 2 さはれ  
①このようになれ ②どうしたものか ③当たり前だ ④どうにでもなれ
- 3 さればよ  
①それにしても ②思ったとおりだ ③いやなことに ④ありきたりだ
- 4 ものおおぼえず  
①思いがけない ②平然としている ③あきれるほどひどい ④呆然としている
- 5 させる  
①普通の ②大変な ③ちよつとした ④たいした

「B」次の文の（訳）の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 6 才はきはめてめでたけれど、みめはいとしもなし。（古本説話集）  
（訳）（大江匡衡は）漢学の素養は非常にすばらしいけれども、外見は「」。  
①たいしたことはない ②身分どおりだ ③特徴がない ④格段に劣っている
- 7 すべて、何も皆、事のととのほりたるは、悪しきことなり。し残したるをさて打ち置きたるは、おもしろく、生き延ぶるわざなり。（徒然草）  
（訳）総じて、何でも皆、事がすべてそろっているのは、悪い事である。やり残したものを「」放つて置いているのは、おもしろく、寿命が延びる（気持ちがする）行いである。  
①いい加減に ②のちのちまで ③ちよつとの間 ④そのまま
- 8 野分のまたの日こそ、いみじうあはれにをかしけれ。（枕草子）  
（訳）台風の「」は、とてもしみじみとした風情がある。  
①来ない日 ②翌日 ③当日 ④前日
- 9 おのれが身かずならずして権門の傍らに居る者は、深く喜ぶことあれども、大きに楽しむに能はず。（方丈記）  
（訳）自分の身分が「」て権勢のある家の隣に暮らしている者は、心から喜ぶことがあっても、盛大に楽しむことができない。  
①合わなく ②定まらなく ③取るに足りなく ④ほどほどに高く
- 10 かくて閉ぢめてむと思ふものから、ただならずながめがちなり。（源氏物語）  
（訳）（女は源氏との交際を）このまま終わらせてしまおうと思うけれども、「」もの思いに沈みがちである。  
①様子がおかしく ②妊娠して ③心が平靜ではなく ④状況が許さず
- 11 この殿は、おほかた歌のありさま知りたまはぬにこそ。（宇治拾遺物語）  
（訳）この殿は、「」和歌の有様を「存じで」「」ことである。  
①少しもくない ②まったくくない ③思ったとおりくない ④ほとんどくない
- 12 めでたしなどは言ふも世の常なり。（大鏡）  
（訳）すばらしいなどという言葉は口にするのも「」。  
①恥ずかしいことだ ②月並みな表現だ ③世の定めだ ④嘆かわしいことだ
- 13 ひとやりならぬ道なれば、行き憂しとてとどまるべきにもあらで、何となく急ぎ立ちぬ。（十六夜日記）  
（訳）「」旅なので、行くのがいやだと言って（都に）とどまることができるわけでもないの、これということもなく急ぎ出発した。  
①人から頼まれた ②他のせいではなく、自分の心からする  
③自分一人の気ままなものではない ④そう簡単にはいかないような
- 14 （コノ馬ヲ）かまへて盗まむ。（今昔物語集）  
（訳）この馬を「」盗もつ。  
①ぜひとむ ②ごつかは ③注意して ④みなで
- 15 さりととも、この北陸道にて、羽黒の讃岐阿闍梨見知らぬ者やあるべき。（義経記）  
（訳）「」この北陸道で、羽黒の讃岐阿闍梨のことを見知らぬ者がいるだろうか、いやいるはずがない。  
①いくらなんでも ②そうはいっても ③まさかと思うが ④だれがなんと言おうと

【新一年生用】 古文単語330三訂版 P 280 ~ P 289

- 15 〔 ① 〕
- 14 〔 ① 〕
- 13 〔 ② 〕
- 12 〔 ② 〕
- 11 〔 ② 〕
- 10 〔 ③ 〕
- 9 〔 ③ 〕
- 8 〔 ② 〕
- 7 〔 ④ 〕
- 6 〔 ① 〕
- 5 〔 ④ 〕
- 4 〔 ④ 〕
- 3 〔 ② 〕
- 2 〔 ④ 〕
- 1 〔 ④ 〕